

INK Product Catalog For Hitachi Inkjet Printers

日立産業用インクジェットプリンタ
インク総合カタログ



HITACHI

有機則非該当インクのご紹介



有機則該当溶剤 フリーのインク “4158K”
高機能で経済的インク（従来有機則非該当インク比）

PP、PEフィルムに高付着かつ 手指消毒用エタノール耐性を有する黒インク

エタノール殺菌後の手で触っても印字が消えにくい特性を有します。

■高機能

- ・高付着
- ・周囲環境を選ばない適用温度(0~50°C、UX2-D)

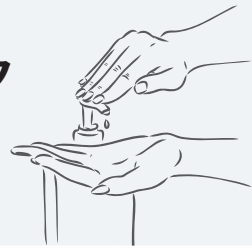
■長寿命インク・低揮散量補液で 経済的+環境に貢献

- ・インク連続運転2400時間で使い切りやすい
(従来有機則非該当インク4136K比+400%)
- ・補液の揮散量が少ない
(従来有機則非該当インク 4136K比 -13%)

■付着力比較

インク型式	耐摺動性		エタノール耐性
	PP板	PE板	
4136K			
4158K			

[試験条件] 耐 摺 動 … 摺動試験機を用いて500g荷重で30回往復摺り
エタノール耐性 … 手指消毒用エタノール(エタノール70~80vol%) 滴下し
液に浸った状態で指擦り



耐レトルト紫外線発光(不可視)インク “4147F”
レトルト処理工程に使用可能な不可視インク

レトルト処理(120°C 30分間)において効果を発揮

レトルト処理を要する工程に使用可能な不可視インクです。レトルト処理(120°C 30分間)においても白化せず、印字の発光を保つインクです。レトルト処理後に手指消毒用エタノール耐性が得られるインクです。

■レトルト処理耐性 評価結果

処理方法	基材	インク	通常光(肉眼)	ブラックライト
レトルト 120°C 30分	PET パウチ	4147F	 不可視	 発光有り
		1092F	 可視(白化)	 発光有り
		3128FA	 わずかに白化	 発光無し

■消毒用エタノール耐性 評価結果

処理方法	基材	エタノール濃度	
		80vol% (消毒用)	50vol%
未加熱	PET パウチ	 発光無し	 発光有り
レトルト 120°C 30分		 発光有り	 発光有り

レトルト処理後、ワーク表面の残留水分・カルキ汚れを拭き取りました。

エタノールを印字に掛け、30秒後に指で10回擦りました。

[ご注意] 上記評価結果は参考比較用です。色濃度や乾燥時間は印字対象物によって異なります。必ず実品に印字を行い確認してください。



有機則非該当の白インク “4137W”
黒地や濃色対象の印字に最適

視認性に優れた白インク

色濃度が高く、視認性に優れた白インクです。また、従来の白インク(JP-W89)より乾燥性に優れ、印字速度を上げることが可能になりました。

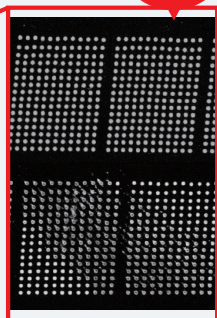
■印字面の擦り比較 結果

インク	色濃度・乾燥性の比較
上段:4137W	
下段:JP-W89	

印字約2秒後に印字面をこすり、乾燥性を比較。

[ご注意] 上記結果は参考比較用です。色濃度や乾燥時間は印字対象物によって異なります。必ず実品に印字を行い確認してください。

4137Wの
乾燥性が高く
擦れなし



多彩なインクバリエーションにより 特長ある印字に対応します。

高付着性

PP(ポリプロピレン)製容器、PE(ポリエチレン)製容器、2ピース缶、3ピース缶などの容器を用いた、食品、薬品、化粧品などの分野に適しています。



有機則非該当インク

対象物質(MEK他)が基準値未満で有機則(有機溶剤中毒予防規則)に該当しません。





速乾性

ピロー包装機など速乾性が必要な用途や、食品包装フィルムなどに適しています。

経過時間[s]	2086K	従来品
0.3	19.12.16	19.12.16
0.5	19.12.16	19.12.16
1.0	19.12.16	19.12.16

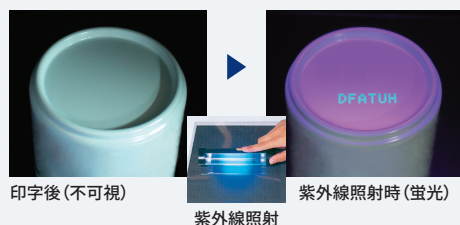
エタノール耐性

エタノールによるふき取り、消毒に強いインクです。

状態	1087K	従来品
印字直後	2019.8.18 GPS	2019.8.18 GPS
エタノール ふき取り		
エタノール ふき取り後	2019.8.18 GPS	2019.8.18 GPS

紫外線発光性(不可視)

製造管理用で紫外線照射で青色に発光します。
製造管理などに適しています。



カラーインク

赤、青、緑、黄、白のラインナップがあります。



用途に応じて、さまざまなタイプのインクをご用意

Ink line-up

労働安全衛生法 有機則*1)	色	インク型式		印字対象物	特長	
		カートリッジタイプ	注ぎタイプ			
非該当	黒	3127K	-	プラスチック	PP、PEに高付着。	
		4136K	-	プラスチック	手指消毒用エタノール耐性。	
		4143K	-	金属	金属樽用・アルカリ洗浄で除去可能なインク。太陽光暴露による洗浄性低下なし。	
		4144K	-	レトルト	加熱殺菌処理（レトルト/ボイル）用パウチに適す。	
		4146K	-	プラスチック	ガラス・軟質フィルムに対し高付着。	
		4148K	-	プラスチック	PP/PEに高付着。手指消毒用エタノール耐性。	
		4151K	-	汎用	PPに対して比較的高密着。	
		4152K	-	金属	金属樽用・アルカリ洗浄で除去可能なインク。濡れ広がり性良好。水性塗料などの重ね塗り性良好。	
		4158K	-	硬質プラスチック	硬質プラスチックに対して高付着。手指消毒用エタノール耐性（目安濃度70～80vol%）。	
	白	4137W	-	汎用	暗色の部品（自動車部品・電気電子部品など）に最適。白色度JP-W89相当以上。	
		4161W	-	プラスチック	硬質PP、PEに高付着（4137W比）。手指消毒用エタノール耐性。	
	無色	3128FA	-	プラスチック	製造管理用（紫外線照射で青色発光）。	
		4147F	-	レトルト	製造管理用（紫外線照射で青色発光）。加熱殺菌処理（レトルト/ボイル）用パウチに適応。	
該当	黒	1067K	JP-K67	汎用	紙、金属、プラスチック、ガラスなどに汎用付着。	
		1072K	JP-K72	プラスチック	プラスチック全般、PP製容器に高付着。	
		1069K	JP-K69	汎用	紙、金属、プラスチック、ガラスなどに汎用付着、クロム不使用。	
		1087K	JP-K87	汎用	食品包装、容器をエタノールで洗浄する工程に適す。	
		1028K	JP-K28	プラスチック、缶	缶、プラスチックに適す。	
		1033K	JP-K33	プラスチック、鋼板	プラスチック（PET、ナイロンなど）、鋼板の耐転写性、速乾性良好。	
		1061K	-	プラスチック	未処理OPP、CPPフィルムに高付着。	
		1062K	-	ガラス	印字後冷蔵保存される食品・飲料容器など（耐結露性良好）。	
		1088K	-	プラスチック	PE製容器に高付着。	
		1106K	-	汎用	食品包装・容器で加熱殺菌工程に適す。労働安全衛生法特化則*2）に該当。	
		1114K	JP-K114	汎用	PP、PE製容器、金属、ガラス、紙などに高付着。	
		1119K	-	金属	鉄鋼に対して、高耐擦性、耐熱圧転写性、高黒色。	
		1304K	-	プラスチック	プラスチック、特にPP・PEフィルム（軟質）に対して高付着、高黒色。	
		1134K	-	レトルト	食品包装、容器の加熱殺菌処理向け。カーボンインク。	
		1121K	-	汎用	食品包装・容器で加熱殺菌工程に適す。	
		1144K	-	レトルト	加熱殺菌処理（レトルト/ボイル）用パウチに適す。	
		2086K	-	汎用	食品包装フィルムやピロー包装機など高速乾性が必要な用途に適す。	
		赤	1027R	-	汎用	紙、金属、プラスチック、ガラスなどに汎用付着、赤色。
		青	1085B	-	汎用	紙、金属、プラスチック、ガラスなどに汎用付着、青色。
			1095B	-	汎用	紙、金属、プラスチック、ガラスなどに汎用付着、クロム不使用、濃青色（B85比）。
	緑	1406B	-	暗色系部品	高い隠ぺい力を有する青インクで、黒色系のワークへの印字に適応（白顔料を含有するため、紙、金属、プラスチック、ガラスなどに汎用付着、緑色）。	
		1027G	-	汎用	紙、金属、プラスチック、ガラスなどに汎用付着、緑色。	
	白	-	JP-W73	汎用	速乾性、暗色の部品（自動車部品・電気電子部品など）に適す。	
		-	JP-W89	汎用	速乾性、暗色の部品（自動車部品・電気電子部品など）に適す。高白色（W73比）。	
		1406W	-	プラスチック	PP・PE高付着白顔料インク。（JP-W89と比較し約10% 印字スピード向上）。	
		1129W	-	電線、ケーブル	可塑性含有PVCに対し高付着。耐水性および耐テープ剥離性および乾燥性良好。	
	黄色	1118Y	-	汎用	黒、暗色のワークに高視認性。	
		1311Y	-	汎用	黒、暗色のワークに高視認性。軟質プラスチックへの印字に適する。	
	橙	1312Y	-	汎用	明色、暗色両方のワークに高視認性。	
	紫	1071T	-	汎用	熱水・蒸気殺菌時に赤紫→青に変色、レトルト食品・缶詰製造時の工程チェック用。	
無色	1092F	JP-F92	汎用	製造管理用（紫外線照射で青色発光）。		

注1) 1071T、1085B、1406W、1406B、1121K、1134K、3127K、3128FA、4146K、4143K、4151K、4152K、1145T、4147Fは空気中の水分の影響を受けやすいインクのため、
 清浄なドライエアーを本体裏面の「エアバージ用エア接続口」に供給してください。詳細はJプリンタ、インクの取扱説明書をご覧ください。

注2) すべてのインクのRoHS指定物質濃度は、Cd<100ppm、Pb、Hg、Cr(VI)、PBB、PBDE<1000ppmとなっています。

注3) 適用機種は当社営業窓口にご相談ください。

注4) 使用温度は適用機種により異なりますので、当社営業窓口にご相談ください。

注5) 詳しいインク成分に関しては、当社ホームページより安全データシート（SDS）をダウンロードしていただくか、当社営業窓口へお問い合わせください。

注6) PPIはポリプロピレン、PEはポリエチレンの略称です。

しています。

	乾燥時間 (秒、20°C時) *3)	適応温度 (°C、ノズル径65μm)		補力液型式	
		UX2-D/S	UX-P (顔料機)	カートリッジタイプ	注ぎタイプ
	2~5	0~35	-	S3127	-
	1~5	5~35	-	S4136	-
	1~5	0~50	-	S4143	-
	1~5	0~50	-	S4136	-
	1~5	0~35	-	S4136	-
	1~2	0~50	-	S4136	-
	1~5	0~50	-	S4151	-
	1~5	0~40	-	S4143	-
	1~5	0~50	-	S4158	-
	1~5	-	0~40	S4136	-
	1~5	-	0~40	S4136	-
	2~5	0~35	-	S3127	-
レトリート後も不可視。	2~5	5~45	-	S4147	-
	1~5	0~45	-	S100A	TH-TYPE A
	1~5	0~40	-	S1018	TH-18
	1~5	0~45	-	S1069	TH-69
	1~5	0~40	-	S1018	TH-18
	1~5	0~35	-	S100A	TH-TYPE A
	1~5	0~35	-	S1018	TH-18
	1~5	0~35	-	S1023	TH-23
	1~5	0~35	-	S1018	TH-18
	1~5	0~35	-	S1071	TH-71
	2~5	0~35	-	S1018	TH-18
	1~5	0~40	-	S1018	TH-18
	1~5	0~40	-	S1018	TH-18
	1~5	0~35	-	S1018	TH-18
	1~5	0~35	-	S1018	TH-18
	1~5	0~35	-	S1084	TH-84
	1~5	0~50	-	S1018	-
	0.3~0.6	0~35	-	S2086	TH-86
	1~5	0~35	-	S100A	TH-TYPE A
	1~5	0~35	-	S100C	TH-TYPE C
	1~5	0~35	-	S1018	TH-18
顔料機での運用必須)。	1~5	-	0~45	S1406	-
	1~5	0~35	-	S100A	TH-TYPE A
	5~7	-	0~40	-	TH-73
	5~7	-	0~40	-	TH-73
	1~5	-	0~45	S1406	-
	1~5	-	0~35	S1018	-
	1~5	0~35	0~35	S1084	TH-84
	1~5	0~35	0~35	S1018	TH-18
	1~5	0~35	0~35	S1018	-
	1~5	0~35	-	S1071	TH-71
	1~5	0~35	-	S1018	TH-18

*1) 有機物は有機溶剤中毒予防規則のことで、有機物該当インクは、第2種有機溶剤などを含有し、労働安全衛生法の有機溶剤中毒予防規則(労働省令36号)の対象となり、これによる管理が必要です。
 *2) 特化剤は特定化学物質障害予防規則のことで、特化剤該当インクは、第2類物質特別有機溶剤などを含有し、労働安全衛生法の特定化学物質障害予防規則(労働省令39号)の対象となり、これによる管理が必要です。
 *3) 乾燥速度は印字物の形状、材質・周囲環境などにより異なりますのでご注意ください。

■ ランニングコストを調べたい方は…

お客さまの下記の使用条件をご確認いただき、当社営業窓口にご連絡ください。ランニングコストを計算いたします。



⚠ 安全に関するご注意

- ご使用前にIJプリンタ、インクの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- インクおよび補力液が第2種有機溶剤を含有する場合、労働安全衛生法中の有機溶剤中毒予防規則（労働省令36号）の対象となり、これによる管理が必要です。
- インクおよび補力液が第2類物質及び特別有機溶剤を含有する場合、労働安全衛生法中の特定化学物質障害予防規則（労働省令39号）の対象となり、これによる管理が必要です。
- インク、補力液類は労働安全衛生法やPRTR法に基づく扱いが必要です。（PRTR法：化学物質排出把握管理促進法）
取り扱い、使用に際しては、安全データシート（SDS）をお読みください。
SDSは、当社ホームページからダウンロードいただくか当社営業窓口にお申しつけください。
- インクなどの廃液、それらをふき取ったワイプ紙や空容器は引火物です。これらは一般のごみ処理はできません。
廃掃法に従い、適切に処理を行うか産業廃棄物業者に運搬または処分を委託してください。
- IJプリンタ周辺には、火気源を置かないでください。装置内、保管用、拭き取ったものなど、すべてのインク、補力液の管理に関しては、消防法の「危険物第4類各成分」保管基準に従ってください。
- このカタログは、日本国内でご使用になる製品について記載しています。

■ IJプリンタをよりよい状態でお使いいただくために、装置の定期点検のための保守契約をされることをおすすめします。詳しくは当社営業窓口へお問い合わせください。

詳細はWEBへ

日立産機 お問い合わせ



株式会社 日立産機システム

www.hitachi-ies.co.jp

Printed in Japan(D)
Copyright © Hitachi Industrial Equipment Systems Co., Ltd. 2026
All rights reserved.

- ・ このカタログに掲載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・ 製品の色は実際の製品の色調と若干異なります。
- ・ IJプリンタダウンタイムにより発生した生産損失および納入機器の故障や誤作動による物的損失につきましては、保証外とさせていただきます。